

アシザワ・ファインテック株式会社

千葉県習志野市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

ナノサイズ微粒子を作る装置を自社開発 創業 100 年の機械メーカーを全員で再生

- 老舗企業が親子2代の連携により、下請け専門の製缶工場から産業機械の完成品メーカーへの転換を達成
- 機械の自社開発に加えて、ユーザーに対する技術サポートで、医薬やIT分野の新素材の実用化に多数の実績
- 従業員満足の上昇を経営理念に掲げて設備・規定・風土を改善し、女性・若者・中途入社など多様な人材が定着して活躍できるダイバーシティな職場を構築

企業基本情報

所在地	千葉県習志野市茜浜 1-4-2
電話/FAX	047-453-8111/047-453-8378
URL	http://www.ashizawa.com/
代表者	代表取締役社長 芦澤 直太郎
設立	2002年
資本金	9,000万円
従業員数	130人



会社概要

産業用機械メーカーとして、開発・設計・販売から組立・アフターサービスまで一貫したオーダーメイドの体制を有する。主力製品は高性能の粉砕機（ビーズミル）で、粉を世界最小のナノメートル単位にまで微細化できる。創業は1903年で千葉県の機械製造業として最古、大正時代には民間初の蒸気機関車を製造した。4代目の現社長は、新創業により社員が主役で活躍できる開発型企業へと飛躍させた。

男女共同参画 千葉県知事賞受賞、厚生労働省ユースエール（若者活躍企業）認定。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 世界最高のナノサイズ粉砕技術で、高付加価値の素材生産を支える

同社は、これまで実現不可能とされていたナノメートルサイズの均一な微粒子を大量生産できる粉砕機・分散機を世界に先がけて独自開発した。従来の力まかせの粉砕原理を一変させる、粒子の結晶構造や特性を破壊せずに微細化できるマイルド分散技術確立し、省エネルギーで高効率の材料生産を実現した。販売実績は国内だけで数千台。自動車用塗料、リチウムイオン電池、液晶タッチパネル、医薬品など、我が国が目指す高付加価値の素材の開発・生産の設備機器として、不可欠な役割を担っている。



医療原体向け粉砕機

▶▶▶ 3代社長が下請けから製品メーカーに転換、4代目は全社員解雇で新創業

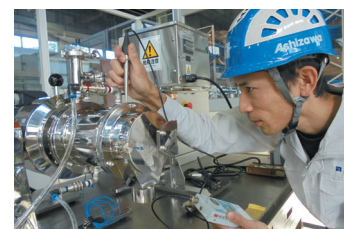
粉砕機への参入は1980年代。創業以来の下請け工場を、先代社長の強烈なリーダーシップにより製品メーカーへと事業転換させた。しかし営業・技術・品質いずれも未熟で、業績は低迷した。2000年に父から承継した現社長は創業100周年を目前に全社員の解雇を発表し退職金を支払った。ただし、目的は新たな創業である。「顧客と環境のために最高の微粒子技術を提供する。それを担う社員が進んで行動し、仕事に誇りと満足を感じる」理想的な職場を実現するために同社は新設された。



女性が主要な業務で活躍

▶▶▶ “社員は会社の財産”と明示して女性・若手人材の積極登用による組織改革

建物も製品も顧客も従前と同一だが、社員が賛同できる新たな経営理念を策定し、元社員60人全てが自ら再入社した。その後は安心して仕事に専念できる生産設備や諸規定を整備し、休暇も取得しやすく改めた。全社員のうち女性が3割、20代男女が4割に達し、新卒定着率は92%と、高い満足度を裏付けている。2012年には栃木県に微粒子技術研究所を開設し、若手エンジニア育成を兼ねた研究開発に着手した。同社は“感動レベルの技術サービス業”として次の100年を見据えている。



若手が新製品の開発を担う